

様式第6号（第7条関係）

平成30年4月26日

（宛先）春日市議会議長

議員氏名又は会派の 春風会  
名称及び代表者氏名 白水 勝己

政務活動費収支報告書

春日市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、下記のとおり平成29年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

- 1 平成29年度政務活動費収支報告書（別紙1）
- 2 添付書類
  - (1) 調査研究・研修報告書（別紙2）
  - (2) 領収書（別紙3）
  - (3) 支払証明書（別紙4）
  - (4) その他

春日市議会事務局  
30.4.26  
第126号  
A5-06--6

別紙1

平成29年度政務活動費收支報告書

議員氏名又は  
会派の名称 春風会

1 収 入

政務活動費 300,000円

2 支 出

項目	金額	主な支出の内訳
調査研究費	278,696円	視察旅費 (H29.5.17~5.19、H29.10.30~11.1)
研修費	円	
広報費	円	
広聴費	円	
要請・陳情活動費	円	
会議費	円	
資料作成費	円	
資料購入費	円	
人件費	円	
事務所費	円	
事務費	円	
合計	278,696円	

3 残額 21,304円

別紙2

調査研究・研修報告書

議員氏名又は

会派の名称 春風会

調査事項 研修会名称	「徘徊SOS支援事業について」
日 時	平成29年5月17日(水)
視察先 場 所	埼玉県入間市
目的	今後認知症高齢者が増えると推計されている中、認知症の人が住み慣れた地域で可能な限り生活を続けていただくためには、これまで以上に地域における認知症施策の推進を図ることが重要となる。その施策の一環として、徘徊癖のある高齢者等の早期保護及び安全確保を図る徘徊SOS支援事業について学んだ。
内容及び所感 (市政の課題に 対して参考にな った事項など)	<p>●基礎資料 人口：148,733人 面積：44.96m<sup>2</sup></p> <p>●受理資料 ①平成28年度入間市政概要 ②入間市徘徊SOS支援事業について ③入間市独自の介護保険以外の介護サービス ④徘徊身元確認支援サービス(チラシ) ⑤入間市広報、いるま市議会だより</p> <p>●調査事項 1 事業に至った経緯と実績について 平成28年11月から入間市は、徘徊癖のある高齢者等の早期保護及び安全確保を図り、介護者の精神的負担を軽減するため「徘徊身元確認支援サービス」を開始した。 28年度交付実績 平成28年11月～平成29年3月まで 23名 29年度交付実績</p>

	<p>平成29年4月～平成29年5月17日時点 30名</p> <p>2 徘徊SOS支援事業の予算      平成28年度予算      爪Qシール 75,600円      かかとステッカー 216,000円      キーホルダー 54,000円      平成29年度予算      キーホルダー、かかとステッカーは一括購入のため、Q爪シール      購入費 450,000円</p>												
	<p>3 徘徊身元確認支援サービスについて      メリット      ・意識せず常に身に付けることができる。      ・徘徊高齢者の状況に合わせた物品を選択することができる。      ・自己負担がなく、気軽に利用できる。      デメリット      ・位置情報が分からぬいため、早期保護には別のシステムを考える必要がある。      徘徊声かけ訓練（大牟田市を参考に）      ・爪Qシールは定期的な張替えが必要</p>												
	<p>4 徘徊声かけ訓練について      認知症による徘徊高齢者等を見かけたとしても、声を掛けることは難しいことから、実際に道（コース）を歩いている徘徊役の方に声をかける訓練をする。</p> <p>実績</p> <table> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1地区</td> <td>約140名</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>2地区3ヶ所</td> <td>290名</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>3地区4ヶ所</td> <td>255名</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>4地区5ヶ所</td> <td>年度途中で未集計</td> </tr> </table>	平成27年度	1地区	約140名	平成27年度	2地区3ヶ所	290名	平成28年度	3地区4ヶ所	255名	平成29年度	4地区5ヶ所	年度途中で未集計
平成27年度	1地区	約140名											
平成27年度	2地区3ヶ所	290名											
平成28年度	3地区4ヶ所	255名											
平成29年度	4地区5ヶ所	年度途中で未集計											
	<p>5 今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の周知→市民だけでなく市外へも周知を進める。</li> <li>・認知症への理解促進→認知症サポート養成講座や認知症カフレ等他部署との連携。</li> <li>・徘徊高齢者等を地域で見守っていくための環境づくり →徘徊声かけ訓練等での活用及び周知。</li> <li>・サービス内容の検討→現行サービスの改良、新物品及びサービスも隨時検討。</li> </ul> <p>※ 身元確認の助けになる物品説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○爪Qシールは主に爪に貼り付けする1cm四方のQRコードが印字されたシール</li> <li>○かかとステッカーは靴のかかとに貼り付けする蛍光ステッカー</li> </ul>												

○徘徊SOSキー ホルダー 入間市観光大使「いるティー」とQRコードが入ったホルダー

## 6 感想

身元確認の助けになる物品は手軽なものでした。特に爪Qシールは目立たないところに（足の爪）貼ることができ、プライバシーの問題も少ないと感じた。将来性能向上により位置情報等が組み込まれれば、欠点と考えられる居場所が分かり有効なツールになると思いました。

別紙2

調査研究・研修報告書

議員氏名又は  
会派の名称 春風会

調査事項 研修会名称	「指定管理者モニタリング評価について」
日 時	平成29年5月18日(木)
視察先 場 所	長野県上田市
目的	平成30年度から春日市の文化施設及び市民図書館への指定管理者制度導入が決定したことから、指定管理者に対する評価の手法として、協定違反等の発生とリスクの発生の2つを防止することで安定的な管理運営の実現を目的とするモニタリング評価について学んだ。
内容及び所感  (市政の課題に 対して参考にな った事項など)	<p>●基礎資料 人口：158,881人 面積：552km<sup>2</sup></p> <p>●受理資料 ①平成28年度上田市の概要 ②指定管理者モニタリング評価実施要項 ③上田市指定管理者モニタリング評価調書 ④上田市における指定管理者モニタリング評価制度について ⑤指定管理者の管理する公の施設一覧</p> <p>●調査事項 1 指定管理者制度は、多様化する市民ニーズに対応して、公の施設の管理・運営に民間のノウハウを活用することで、公共サービスの質の向上と経費の節減等を図ることを目的に平成15年9月の地方自治法改正により創設された制度である。上田市においては平成18年3月の市町村合併時に本格導入している。指定管理者制度を導入している公の施設において、指定管理者によるサービスの提供が条例や規則・協定等に沿って、適</p>

切かつ確実に実行されているかどうかを確認するとともに、施設の管理・運営上の課題や問題点を洗い出し、安定的・継続的なサービスを提供するために、市が指定管理者による業務を検証・評価するモニタリング評価を平成19年度事業から実施している。

## 2 評価調書について

- 管理実績 ○施設の利用状況 ○収入・支出の状況
- 職員の配置状況 ○自主事業の状況 ○施設所管課による評価（共通評価項目）などについて説明を受けた。

## 3 上田市の指定管理者制度導入施設 ⇒ 受領資料⑤

## 4 行政にとってのメリットデメリット

### メリット

- ・指定管理者の経営状況、施設の運営状況の把握
- ・指定管理者のサービス向上、経費節減、モチベーションアップ等

### デメリット

- ・行政側（指定管理者側も）の手間・負担の増加
- ・実施手順や実施方法が難しい（確立されていない）

## 5 課題・対処

- 評価項目、評価基準、指標等作成→ さまざまな運営形態・業務に対する一律の基準適用
- 年1回の実施→ 行政担当者の現場感覚、スピーディーな問題解決
- モニタリング評価業務の負担→ 指定管理者と施設所管課の負担（数多く施設を抱える所管もある）など

## 6 視察感想

上田市は第3者による評価は導入していない。理由は人の選定がなかなか難しいなど。指定管理者制度導入は民間のノウハウを活用することであり、メリットが多くある反面、デメリットもあるので総合的に考える必要がある。指定管理者制度を導入することにより、ここが良くなつたといえる見える化がポイントだと思いました。

別紙2

調査研究・研修報告書

議員氏名又は  
会派の名称 春風会

調査事項 研修会名称	「1%まちづくり事業について」
日 時	平成29年5月19日（金）
視察先 場 所	群馬県大田市
目的	地域コミュニティをより活性化させる特色ある事業であり、市税の1%相当を財源として「地域が考え行動し汗を流す」行政と住民の協働事業について学んだ。
内容及び所感  (市政の課題に 対して参考にな った事項など)	<p>●基礎資料 人口：223,786人 面積：157.54km<sup>2</sup></p> <p>●受理資料 ①平成29年度1%まちづくり事業 ②1%まちづくり事業について ③1%まちづくり事業成果発表会 ④平成28年度1%まちづくり事業申請状況 ⑤大田市議会の概要</p> <p>●調査事項 1 事業に至った経緯と実績について 経緯 大田市は地方分権の基本である自己決定、自己責任でまちづくりを進めようとした。1%事業は市税収入の1%相当：3億円を地域に還元し使い道を決め成果を検証することによって地域が元気になる考え方。市長の「住民がやろうとしていることを行政がとりあげてしまっていることはないか。なんでも行政がやればいいというもののじやない。むしろ、行政が表にでない方がうまくいくケースもたくさんある。地域や団体の皆さんがあ</p>

	<p>行政に参加してくれれば、皆さんのがんばる気は出てくるし、小さな政府も可能になる」ということからはじまった。</p> <p>実績 受領資料③</p> <p>2 1%まちづくり会議での人選、役割及び実施回数について。 人選 全15名（公募委員11名、団体推薦委員（区長会）4名により構成）、任期2年、無報酬、役割（申請された事業の採択・不採択に係る審査や事業の検証、1%まちづくり事業の運営方法の審議を行う。） 実施の状況 (1) 4月から12月まで：毎月1回開催（原則：第4木曜日）午後6時から (2) 1月：「まちづくり事業成果 発表会」（4団体）場所：行政センター (3) 3月：次年度の第1次募集についての審査を2回（2日間）開催</p> <p>3 採択事業後の検証方法について 検証方法 ・（継続案件について）前年度の事業報告書の閲覧 ・委員による個別視察 ・成果発表会</p> <p>4 事業費と予算上限について 事業費 ・積算方式 予算上限 ・100%補助</p> <p>5 市税の1%はどこまでの範囲なのか（住民税、法人税、固定資産税など） 予算上の位置づけ 「1%まちづくり事業補助金」 1億5000万円 (内訳) ソフト事業費（地域総務課） : 6000万円  ハード事業費（道路保全課）  ①地域生活環境整備事業工事費 : 8000万円  ②地域生活環境整備事業原材料費 : 1000万円</p> <p>6 今後の課題と展望について 課題 ・「各地域の取り組みに対する温度差の解消」（先進事例を各地区にも展開していただくため、地域のリーダーである区長（自治会）に積極的に協力してもらう。） ・「芸術文化、スポーツ分野などへの対応」（趣味の会や愛好会などの色々な会があるが、内向きの提案（会の発表会のよくなもの）が多くまちづくりに結びつきにくい。）</p>
--	---

- ・ソフト事業はハード事業に比べ、成果が見えにくい
- ・事業に対するチェック体制の強化
- ・事業費の100%近くが補助金となる場合もあり、事業費の肥大化を招く。
- ・購入された備品等が適切に使用され管理されているかの確認
- ・関係書帳簿が適正に処理されているかの確認

#### 展望

1%の事業の発足から11年目を迎え、制度の問題点、課題が明確化している。1%まちづくり会議等の意見を参考にしながら、事業決算の傾向を把握し修正を図っていきたい。

#### 感想

本市に1%事業を直接取り入れることには疑問を感じる。良い面を参考にし、春日市としては現在の自治会との協力を維持し、継続していくべきと思う。

別紙2

調査研究・研修報告書

議員氏名又は  
会派の名称 春風会

調査事項 研修会名称	「タブレット端末を活用した学校教育について」
日 時	平成29年10月30日（月）13：40～15：40
視察先 場 所	大阪府寝屋川市
目的	市内の公立小中学校へのICTを導入した授業と活用方法について、先進地である寝屋川市の公立小学校の現場の授業を見学し、生の児童生徒の表情や教員の声を聴き、利点や課題点について学ばせていただきたい
内容及び所感 (市政の課題に 対して参考にな った事項など)	<p>●基礎資料 人口：235, 959人 面積：109. 384 m<sup>2</sup></p> <p>●受理資料 ①平成29年度寝屋川市の概要 ②春日市議会視察資料 ③生涯にわたって学び続ける意欲を持ち続けるために ④寝屋川市小中一貫教育アクションプラン ふくらまそう夢育てよう未来の宝 ⑤学園ICT化構想事業 ⑥平成29年度学校要覧（寝屋川市立石津小学校）</p> <p>●調査事項 1 同事業の目標 教育環境のICT化を進めることにより、よりわかりやすい授業を行うとともに、子どもたちの考えを伝えたり話し合う活動などを通じて、知識を活用する力や言語力の育成を図るなど、確かな学力を身につけた子どもの育成を図る。また、教職員間の情報共有化により、小中一貫教育のさらなる推進を図る。</p>

## 2 期待される効果

### ○ 児童生徒

- ・授業がわかりやすくなり、学習に意欲的に取り組める。
- ・自分の考えを発表したり交流することにより、学習が深まる。
- ・個々の課題に応じた学習ができる。

### ○ 教員

- ・多様で豊富な教材を提示できる。
- ・板書などの時間が短縮でき、児童生徒への指導の時間が多くなる。
- ・学校教職員間での教材交流、情報共有など素早くできる。

## 3 同事業の体制及び事業費について

### ○ 単年度で数千万円を継続している。

28年度は機器だけで3000万円 年に1億円程度かかっていると思う。

### ○ ICT支援員2名が教員のレベルに応じた研修を行っている。

## 4 現状と課題

### ○ 現状

- ・小中学校の全ての通常学級・支援学級（1学級）・通級指導教室に電子黒板セットを導入
- ・小中学校全教室に指導用パソコンを導入
- ・小中学校全校に41台のタブレットPCを導入

### ○ 課題・対応

- ・小中学校すべての教員がすべての教科で効果的にICTを活用した授業ができるよう研修を進める
- ・インストールや不具合対応等、導入された機器に対し速やかな対応を行う。

## 5 感想

授業参観で児童がICT活用時に楽しんで授業を受けていた。全員の考えが共有でき効率もよくなると感じた。ICTは、あくまで授業支援ツールであり、基本的な板書であるが、これもきちんとしてあり参考になった。児童には明確な課題をつかませ、横一線にそろえて行うとの説明を受けた。今後タブレットでないとできないものの研究をしていくようだ。全国学力調査では着実に学力が伸びているとのことでした。とにかく児童が楽しそうに授業を受けていたのが印象的でした。私も子どもの頃にICTがあったならば、と思いました。当校は若い教師が多いとの説明はなんとなく納得した。

別紙2

調査研究・研修報告書

議員氏名又は

会派の名称 春風会

調査事項 研修会名称	「不登校対策について」
日 時	平成29年10月31日(火) 10:00~12:00
視察先 場 所	大阪府池田市
目的	本市においても、学区に行きたくても行けない児童生徒（不登校生徒）が毎年増加している。その対処方法として本市においても、登校支援員やスクールソーシャルワーカーの配置や教育支援センターの設立により対処しているが、中学校卒業後のフォローについては、解決策を見出せていない。そこで不登校対策における先進地の池田市と民間連携事業の「スマイルスクール」について学ばせていただきたい。
内容及び所感 (市政の課題に 対して参考にな った事項など)	<p>●基礎資料 人口：103,498人 面積：22.14km<sup>2</sup></p> <p>●受理資料 ①池田市教育センターリーフレット ②池田市教育ビジョン ③池田市の教育平成28年度版</p> <p>●調査事項 1 活動の目的・趣旨 年齢、性別、障害の有無、国籍等を問わず広く自己の研鑽と発達を求める人々に対して、人格や個性や才能や学力などの多様な教育環境の提供や、スポーツや芸術、エンターテイメントの活動を通じての自己表現、自己実現の機会の提供に関する事業を行い、世界との交流の中で学校教育、社会教育の発展、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。</p>

## 2 団体の設立経緯

団体の発足は2002年10月に遡る。池田市の市長から「不登校の子どもたちや家族のために幅広く柔軟な対応をするための新しい取り組みを始めたい」という要請を受け、代表理事の白井氏が「がっこう」という新しい教育の場をつくるために始動した。その後、池田市教育委員会の委託を受け、公教育とNPOの連携では全国初の教育支援事業として2003年9月より池田市教育会館の一室を借りて教育相談事業を開始。11月には池田市立山の家に活動拠点を移し、2004年4月に正式に新しい「がっこう」として「スマイルファクトリー」をスタートした。

## 3 同事業の効果

2004年には不登校や発達障害の子どもたちが学ぶフリースクールを開校。これら一連のスマイルファクトリー事業で、池田市の不登校児童数が減少している。

## 4 不登校生から信頼され相談されるための取組

指定管理者制度を活用しながら、自治体と連携して子どもたちが元気に成長できる地域社会づくりに取り組んでいる。

## 5 事業の成果

### ○ 安心できる「居場所」で子どもの心を開く

不登校の男子生徒は、中学校生活の大半を自宅の部屋の中で過ごし、家族でさえも口をきいていなかった。スタッフは彼の家に訪問を繰り返したが、本人との接点は挨拶をする程度であった。しかし、このような無理強いをしないスタッフのフォローが、彼の心を動かした。ある日、「がっこう」に行きたいという本人からの連絡があり、通学が始まった。最初のうちは、當時イヤホンで好きな音楽を聴き、周囲からの接触を遮断していたが、徐々に「がっこう」の雰囲気にも馴染みだし、自分から先生に話しかけたり、仲間に自分の歌を聞かせたりと、大きく変化した。安心できる「居場所」を用意してあげると、その中で自分自身を見つめるようになり、その結果勇気を出して自ら一步を踏み出すことが可能となる。効果をもたらす場所として、拠点としている大阪府池田市の自然豊かで静かな非常に良い環境のところにあった。

### ○ 居場所を支えるスタッフ陣

多様な経歴を持つスタッフが揃っていることも特徴の一つである。さまざまな角度から生徒たちにアプローチが出来るので、ひとつの方でなく、余裕を持った接し方ができる。そうしたことが評価されて、相談・スクールリングは増加した。今後も生徒の可能性を引き出すために、体験学習のメニューを増やし、いろんなことにチャレンジできる環境を整え

ていきたいとのこと。

## 6 感想

池田市中心部より車で20分程度。旧伏尾台小学校北校舎を利用しており、1億2000万円かけて耐震工事を行なったとのことでした。古い建物であるが思ったより清潔にしてあつた。対応されたのはNPO法人トイボックスの代表理事白井智子氏で、南相馬での活動等様々な実績をもとに講話された。豊かな経験があるので自信をもって語られていたので説得力のある有意義な時間だった。視察の日はあいにく休校日だったので、子どもたちの姿はなく学習は参観できず、各教室を見せてもらつただけで、少し残念であった。「不登校は子どもたちの責任ではない」。印象的な言葉でした。

## 別紙2

### 調査研究・研修報告書

議員氏名又は  
会派の名称 春風会

調査事項 研修会名称	「加古川市市民図書館の管理運営について」
日 時	平成29年11月1日（水）10：00～12：00
視察先 場 所	兵庫県加古川市
目的	本市においても、平成30年度より春日市ふれあい文化センターが指定管理者に委託することを受け、指定管理受託者の(株)ケミックスパブリックビジネスが、現在実際に指定管理を行っている加古川市民会館を訪ね、その業務と実績・自主事業について視察する。
内容及び所感  (市政の課題に 対して参考にな った事項など)	<p>●基礎資料</p> <p>人口：265,055人 面積：104.786m<sup>2</sup></p> <p>●受理資料</p> <p>①公共文化施設管理運営実績 ②ウェルネス推進課所管指定管理施設一覧（指定管理者別） ③貸しホール貸会議室のご案内 加古川市民会館 ④加古川市民会館information ⑤ケイミックスパブリックビジネス ⑥議会だより かこがわ ⑦広報 かこがわ ⑧兵庫県加古川市ふるさと納税（寄付金）</p> <p>●調査事項</p> <p>1 市民会館を指定管理にするまでの背景、経緯について 加古川市民会館は平成18年度より指定管理者制度を導入している。平成18～20年度は（財）加古川市文化振興公社を指定管理者として非公募で指定した。平成21年度からの指定</p>

管理第2期目にあたり、指定管理施設のうち、民間のノウハウを活かせる施設については原則公募することとした。市民会館については、民間事業者の応募が見込まれることから、公募による指定管理施設としている。

2 指定管理者の選考基準、また独自の条項等はあったのか。  
指定管理者制度で初めて公募した際の審査基準は次のとおり。

- ・施設の管理運営に関する基本的な考え方
- ・管理運営体制
- ・施設等の維持管理
- ・施設の活用方法
- ・指定自主事業計画
- ・自主事業計画
- ・収支計画
- ・その他（サービス充実に向けた取り組み、環境への配慮等）

3 直営時との運営経費や職員数等の比較について

市文化振興社が運営していた時は市派遣職員5名、臨時職員2名、現実はケイミックス所属の職員10名（受付6名）で運営している。ただし委託等で来ている職員が両社ともにあるため一概に比較できない。市文化振興者時のH19年度の市負担金は119,261千円、平成28年度の指定管理料は約2,000万円程度削減できている。

4 指定管理者導入に対する市民の対応と、導入後にアンケートは実施したのか。

平成18年度の指定管理者生徒導入時に、パブリックコメント等を実施した記録はない。導入後、市で実施したアンケートはありませんが、現在指定管理者が毎年度アンケートを実施することにしています。

5 指定管理者導入後の効果及び課題とその対処について

#### 効 果

コストの削減が達成できるとともに、民間のノウハウを十分に活用できていると考えます。特に、加古川市民会館については、時代やニーズに合わせ、毎年度柔軟に事業実施を計画してもらっている。

#### 課 題

指定管理者により職員への指導方法や年度途中での事業計画変更への対応が異なるため、施設毎の運営内容にバラつきがある。提供されるサービスの質が標準化されるよう、モニタリング等を通じて各管理者へ指導を行っています。

6 施設運営方針及び運営状況（事業費等の予算、組織体制、稼

	<p>効率や入場者数等)について</p> <p><b>運営方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加古川市民会館条例（以下「条例」という。）及び同施行規則（以下「規則」という）に基づき、適切な管理を行うこと。</li> <li>・利用者の安全を再優先に考えて管理すること。</li> <li>・公の施設であることを認識し、公平な管理運営を行うとともに、市民サービスの向上に努めること。</li> <li>・市民ニーズの把握に努め、管理運営に反映すること。</li> <li>・市民に良質の芸術、文化に触れる機会を提供するとともに、文化活動の促進に寄与する管理運営をおこなうこと。</li> </ul> <p><b>運営状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費予算：平成29年度指定管理料99,757,000円</li> <li>・組織体制：館長1名、副館長1名、事業課長1名、事業担当者1名、受付6名</li> <li>・施設稼働率：46%（平成28年度）</li> <li>・利用者数：226,473人（平成28年度）</li> </ul> <p><b>7 自主事業の考え方と計画について</b></p> <p>加古川市では、市が指定する7事業を除き、市民に良質の芸術文化に触れる機会を提供するとともに文化芸術を育む環境づくりを進めることを目的に、指定管理者自らが発案する事業を自主事業としている。</p> <p>[平成29年度自主事業計画]</p> <p>加古川市民文化祭、加古川シネマ、伝統芸能（歌舞伎）、コンサート（3公演）、落語、よしもと公演、ダンスワークショップ、アウトリーチ活動、加古川カルチャークラブ等</p> <p><b>8 市民ニーズの把握と、それに基づくサービスの向上が、図られるような指定管理者との調整方法</b></p> <p>市、指定管理者それぞれに寄せられたご意見については、逐一情報共有をしています。要望は会館窓口での応対時や指定管理者が実施するアンケートや意見箱、HPメールフォーム等から集めており、特に事業実施や運営サービスに関する要望については、基本的に指定管理者側で改善策を検討してもらっている。その他、施設の設備や修繕に関する要望については、市と指定管理者で計画的に実施するよう調整を図っている</p> <p><b>9 その他の文化施設等との連携について</b></p> <p>[市内文化施設との連携]</p> <p>市内の各文化施設は市民会館と異なる指定管理者が運営しているが、相互に公演チケットを販売するなどしている。</p>
--	---

[ケイミックスパブリックビジネスが管理運営する市外文化施設との連携]

- ・定期的に館長会議を行うことで、情報や意見の交換を行い、情報の共有や手法の水平展開を行っている。
  - ・オープニングイベントやフェスティバルなど、大きな催しの際は近隣会館から応援を仰ぎ、実施することもある。社内のスタッフのため、事前の打ち合わせや運営方法などスムーズに共有することができます。
  - ・職員が他館に行き、運営方法など視察することもあります。
  - ・弊社が指定管理として管理運営している加西市民会館とは、お互いの公演チケットを預かり、販促協力をしています。
- [その他文化施設との連携]
- ・姫路市文化センターでの避難訓練コンサートや、兵庫県立文化芸術センター主催の情報交換会への参加をしています。

## 10 観察感想

加古川市民会館の指定管理者はトールツリーグループで春日市の文化センターの指定を受ける同じ事業者である。春日市ふれあい文化センター面接審査プレゼンテーション冊子を中心に説明された。事業者の特徴は全国規模で活動しており、スケールメリットがあるとのことでした。①トールツリーグループの説明、②基本方針と達成目標、③人員配置、④指定事業と自主事業の展開について説明を受けた。特に④において必須型、提案型、自主事業とあり、特に提案型については民間企業のノウハウで多様な事業ができる。また、自主事業では興行のため多彩な芸能人等を呼ぶことができ普段市民が直に接することができないことを体験できると期待したい。

冊子の最後のページに「長期的な視点での管理運営」、「文化芸術の力で心豊かなまちづくり」とあります。

観察の終わりに期待していますのでよろしくお願いしますと言つて来ました。

## 別紙3

## 領収書貼付用紙

整理番号	/
------	---

議員氏名（会派の名称）：春風会

経費項目	調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費 資料購入費・人件費・事務所費・事務費
	※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

## 領 収 証

No. 979657 I

RECEIPT

平成29年5月15日

ご氏名 春風会 様

白水勝己、松尾徳晴様

(ご注意)  
本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額 ￥98,980-

- ただし5/7成東京往復航空券(WA).  
JR東日本バス代として
- 上記金額正に領収いたしました。
- 1.現金
  - 2.小切手
  - 3.振込 (5/15)
  - 4.クレジット(カード)
  - 5.その他( )



株式会社日本旅行

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

自治労福岡営業本部  
9834支店

責任者印

扱者名

## 領 収 書

No. 040592

春日市議会 春風会 様

￥3,030-

上記の金額確かに受領いたしました。

平成29年5月9日

福岡県春日市伯玄町2丁目55-3

(株)和菓子

龜

本店 ☎ 581-9095  
 薬院店 ☎ 713-5621  
 南ヶ丘店 ☎ 596-6664  
 高宮店 ☎ 524-5250  
<http://www.e-wagashi.jp>



内	商品代	￥
訳	消費税	￥
	その他	￥

平成29年度 行政視察 旅費計算

埼玉県入間市								
区分	区 間			単価(円)	人	金額(円)	備考	
5/17 (水)	鉄道賃 JR鹿児島本線	春日	→	博多	230	2	460	
	鉄道賃 福岡市営地下鉄	博多	→	福岡空港	260	2	520	
	航空賃 ANA246便	福岡空港	→	羽田空港	18,090	2	36,180	旅行会社支払
	鉄道賃 京急本線	羽田空港	→	品川	407	2	814	
	鉄道賃 JR山手線	品川	→	池袋	259	2	518	
	鉄道賃 西武池袋線	池袋	→	入間市	432	2	864	
	鉄道賃 西武池袋線	入間市	→	池袋	432	2	864	
	鉄道賃 JR湘南新宿ライ	池袋	→	大宮	388	2	776	
	鉄道賃 JR往復乗車券(往復)	大宮	→	上田	2,590	2	5,180	旅行会社支払
	鉄道賃 新幹線特急券	大宮	→	高崎	2,360	2	4,720	旅行会社支払
	宿泊料 乙地方				9,800	2	19,600	
	日当 定額				2,200	2	4,400	
小計						74,896		
長野県上田市								
区分	区 間			単価(円)	人	金額(円)	備考	
5/18 (木)	鉄道賃 新幹線特急券	高崎	→	上田	2,360	2	4,720	旅行会社支払
	宿泊料 乙地方				9,800	2	19,600	
	日当 定額				2,200	2	4,400	
	小計					28,720		
群馬県太田市								
区分	区 間			単価(円)	人	金額(円)	備考	
5/19 (金)	鉄道賃 JR乗車券	上田	→	伊勢崎	1,940	2	3,880	旅行会社支払
	鉄道賃 新幹線特急券	上田	→	高崎	2,360	2	4,720	旅行会社支払
	鉄道賃 東武伊勢崎線	伊勢崎	→	太田	308	2	616	
	鉄道賃 東武伊勢崎線(特急券含む)	太田	→	北千住	2,000	2	4,000	旅行会社支払
	鉄道賃 千代田線・山手線	北千住	→	浜松町	327	2	654	
	鉄道賃 東京モルタル	浜松町	→	羽田空港	483	2	966	
	航空賃 ANA261便	羽田空港	→	福岡空港	17,790	2	35,580	旅行会社支払
	鉄道賃 福岡市営地下鉄	福岡空港	→	博多	260	2	520	
	鉄道賃 JR鹿児島本線	博多	→	春日	230	2	460	
	日当 定額				2,200	2	4,400	
小計						55,796		
	手土産代	(2,160円+送料870円) × 3力所／6人			1,515	2	3,030	
		総費用			162,442			

別紙3

領収書貼付用紙

整理番号	2
------	---

議員氏名(会派の名称) : 春風会

経費項目	調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費 資料購入費・人件費・事務所費・事務費	※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。
------	---	----------------------

領 収 証

No. 053909

RECEIPT

平成 29 年 10 月 24 日

ご氏名 春風会 様

白水勝己、松尾徳晴様

(ご注意)  
本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの  
及び金額欄を訂正した  
ものは無効とします。

金額 ￥ 56,140 -

1. 現金  
2. 小切手  
3. 振込 (1/3)  
4. クレジット(カード)  
5. その他( )

ただし1/3がJR券福岡市内へ  
大阪市内往復代として

上記金額正に領収いたしました。



株式会社日本旅行 自治労福岡 営業本部  
9834 支店

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

責任者印

扱者名

領 収 書

No. 040381

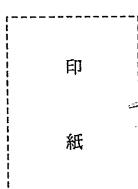
春日市議会春風会 様

￥2314 -

上記の金額確かに受領いたしました。

平成29年10月23日

福岡県春日市伯玄町2丁目55-3



内訳	商品代	￥
	消費税	￥
	その他	￥

(株)和菓子



本店 ☎ 581-9095  
薬院店 ☎ 713-5621  
南ヶ丘店 ☎ 596-6664  
高宮店 ☎ 524-5250  
<http://www.e-wagashi.jp>

M No 032646

## 領 収 書

RECEIPT

# 春秋市議會 春風會 樣

¥ 39. 640 -

但し 痘泊仔として(消費税 2936 円含む)

上記金額正に領收取致しま

発行ホテル名及び住所

## 新大阪ワシントンホテルプラザ

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-5-15

☎ (06) 6303-8111 FAX(06) 6302-7007

ワシントンホテル株式会社

本社住所

〒464-0075 名古屋市千種区内山三丁目23番5号

## 平成29年度 行政視察 旅費計算

大阪府寝屋川市							
区分	区間			単価(円)	人	金額(円)	備考
鉄道賃	JR鹿児島本線	春日	→	南福岡	160	2	320
鉄道賃	JR乗車券(往復)	福岡市内	↔	大阪市内	17,280	2	34,560
鉄道賃	新幹線特急券	博多	→	新大阪	5,390	2	10,780
鉄道賃	大阪市営地下鉄	新大阪	↔	淀屋橋	460	2	920
鉄道賃	京阪本線	淀屋橋	↔	寝屋川市	620	2	1,240
宿泊料	新大阪ワシントンプラザ(60歳以上)			9,810	1	9,810	
宿泊料	新大阪ワシントンプラザ			10,010	1	10,010	
日当	定額			2,200	2	4,400	
				小計		72,040	
大阪府池田市							
区分	区間			単価(円)	人	金額(円)	備考
鉄道賃	大阪市営地下鉄	新大阪	↔	梅田	460	2	920
鉄道賃	阪急宝塚本線	梅田	↔	池田	620	2	1,240
宿泊料	新大阪ワシントンプラザ(60歳以上)			9,810	1	9,810	
宿泊料	新大阪ワシントンプラザ			10,010	1	10,010	
日当	定額			2,200	2	4,400	
				小計		26,380	
兵庫県加古川市							
区分	区間			単価(円)	人	金額(円)	備考
鉄道賃	新幹線特急券	姫路	→	博多	5,400	2	10,800
鉄道賃	JR鹿児島本線	南福岡	→	春日	160	2	320
日当	定額			2,200	2	4,400	
				小計		15,520	
手土産代	(2,160円+送料540円)×3カ所／7人×2人			2,314	1	2,314	

※手土産代の端数1円は翔春会が負担。

総費用 116,254